

その他のAPI

このドキュメントでは、**ActiveServer**で利用できる他のAPIエンドポイントの概要を説明します。

ヘルスチェック（GET/health/{token}）

サービスのステータスを返すヘルスチェックエントリーポイント。このエンドポイントを使用して、サービスが稼働しているか停止しているか、および現在のシステムパフォーマンスのデータを取得できます。

このエントリーポイントは、アプリケーションプロパティファイルで次の構成を設定することで有効にできます。ランダムトークン値は、エントリーポイントの `{token}` を置換するために使用されます。

```
as.settings.health-check-token = <任意のランダムトークン>
```

重要

ヘルスチェックAPIを使用するには、上記のプロパティファイルにトークンを設定する必要があります。

HTTPステータスコード（200）応答

以下は、有効な構成済みトークンを使用してAPIが呼び出されたときのHTTPステータスコード **200** のJSONのHTTP応答の例です。

```
{
  "status": "OK",
  "dbStatus": "OK",
  "dbProbeElapsed": 10,
  "version": "1.4.1.edesfd",
  "threads": 256,
  "pendingRequests": 0,
  "maxMem": 28900002,
  "currentMem": 1890001,
  "timestamp": "20201101T12:12:30"
}
```

- **status** - **ActiveServer**ステータスは、常に **OK** を返します。ActiveServerがサービス停止している場合、応答HTTPステータスコードは **200** にはなりません。
- **dbStatus** - DBステータスは、常に **OK** を返します。データベースに問題が設定している場合、応答HTTPステータスコードは **200** にはなりません。
- **dbProbeElapsed** - DBのステータスチェックに要した時間。(単位:ミリ秒)
- **version** - 現在の**ActiveServer**バージョン。
- **thread** - 現在のワーカースレッドの数。
- **pendingRequests** - キュー内の保留中の現在のリクエスト数。
- **maxMem** - メモリサイズの最大数 (単位:バイト)。
- **currentMem** - 現在のメモリ使用量 (単位:バイト)。
- **timestamp** - 現在のUTC時間 (形式: **yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss**)

HTTPステータスコード (403) 応答

ヘルスステータストークンが無効な場合、禁止されたHTTPステータスコードを取得する可能性があります。HTTP応答の本文は次のようになります。

```
{
  "code": "2005",
  "message": "Access is denied."
}
```

- **code** - <https://docs.activeserver.cloud/en/errors/>で定義されているエラーコード
- **message** - エラーの説明。エラーが発生した理由が含まれています。

HTTPステータスコード (501) 応答

「as.settings.health-check-token」が設定されていない場合、**501 Not Implemented** が空の HTTP 応答 Body とともに返却されます。